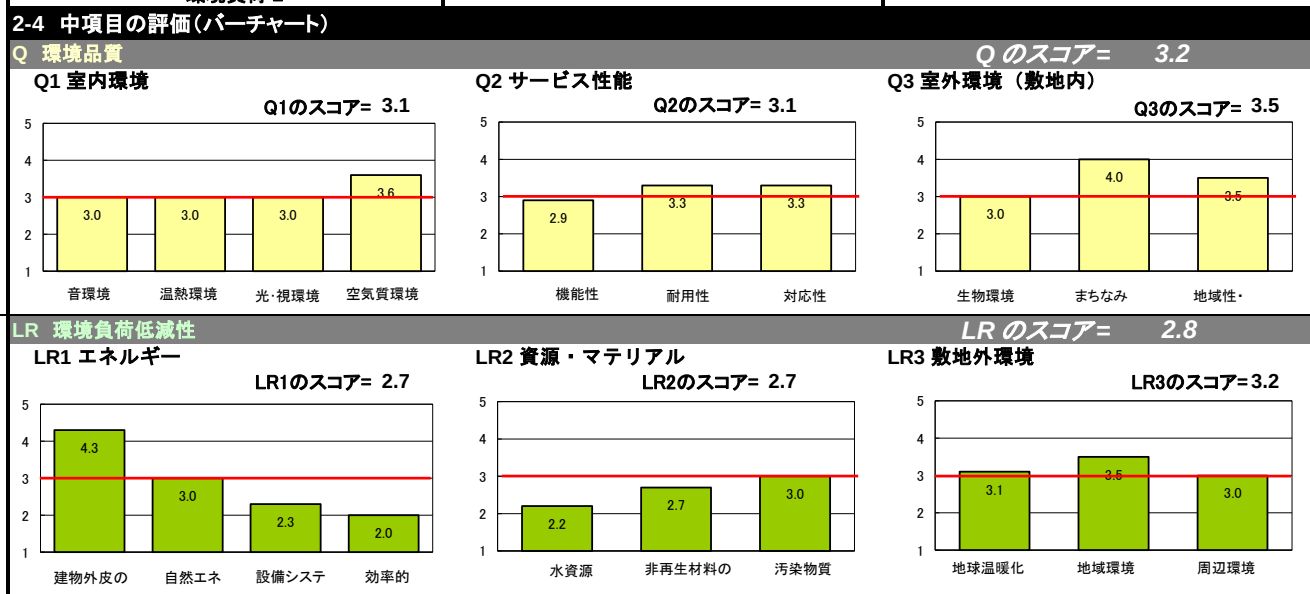
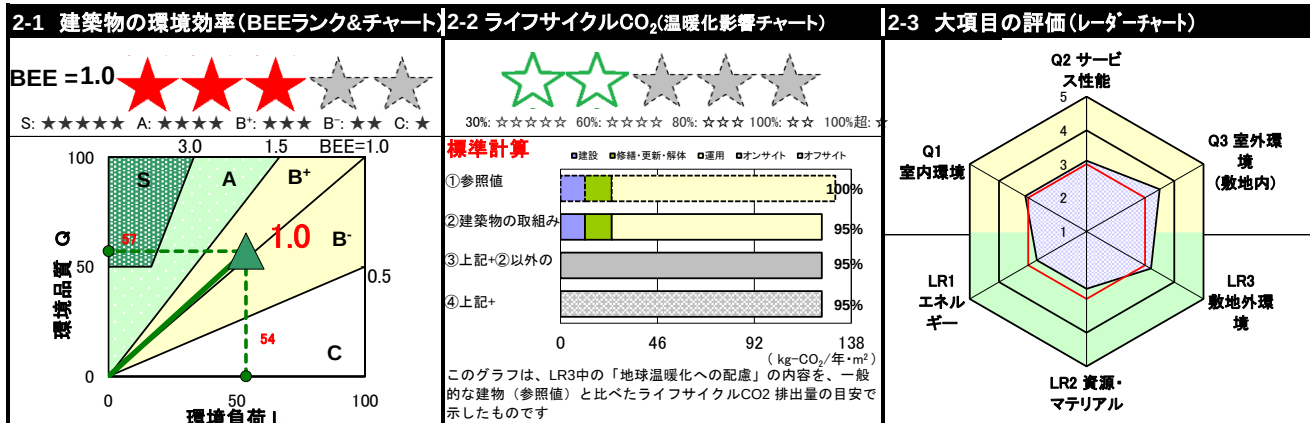


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)道の駅「くまがや」整備事業	階数	地上2F
建設地	埼玉県熊谷市池上字高根1168	構造	木造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	379 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,020 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2025年6月30日
敷地面積	7,826 m ²	作成者	熊田 実祐季
建築面積	1,967 m ²	確認日	2025年7月24日
延床面積	2,067 m ²	確認者	熊田 実祐季



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
サービス性能・室外環境に配慮した建築物となっている。		ライフサイクルCO ₂ 排出率の削減に努めている。
Q1 室内環境 ほぼ全面にF☆☆☆☆の建築材料を採用している。 建物内を禁煙としている。	Q2 サービス性能 階高を4.50m確保している。 25%増の耐震性を有している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積率の合計が30%以上としている。
LR1 エネルギー BPI=0.87	LR2 資源・マテリアル 再利用できるユニット部材を用いている。	LR3 敷地外環境 建築物の見付面積比を40%未満としている。 燃焼機器を使用しておらず、地域環境へ配慮した建物としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

(仮称)道の駅「くまがや」整備事業BEE

1.0

BEEランク

★★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.1

+

3.0

=

6.1



重点項目の各スコアの合計点

がんばろう
6.0未満良い
6.0以上非常によい
6.8以上すばらしい
8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.1

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.1

<配慮した内容を記述>

ライフサイクルCO2排出率を95%としている。

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 3.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア 3.0

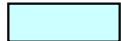
LR3 敷地外環境

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 3.0

<配慮した内容を記述>

外構緑化指数を40%以上としている。

 : 入力欄